

第16回全日本ユース(U-16)水球選手権大会－桃太郎カップ－【戦評】

会場：倉敷市屋内水泳センター 【2023/12/27】

この試合のプレー集計

男子3位決定戦

埼玉選抜

6

2	—	4
1	—	3
1	—	5
2	—	5

17 石川県選抜

PSO

潮崎 正一

審判:

縄井 裕平

埼玉選抜	41	SH数	32	石川県選抜
	4	速攻数	20	
	13	ST・SB	16	
	13	SH・P誘発アシスト	12	
	19%	GK阻止率	74%	
8	EX反則数	9		

ST・SB: ボール奪取・SH阻止

【試合の流れ】

3位決定戦となった埼玉－石川は、予選リーグの再戦となった。この世代がぶつかった春JO3位決定戦の再戦となった。このJOでは、埼玉がどんどん攻めてシュートを放つが、石川GK①三谷の好セーブなどで完全に封じ込めて石川が完勝した(石川13－2埼玉:石川GKの阻止率は驚異の86%)。春JOもそうだったが、予選リーグ(石川10－5埼玉)でも埼玉の失点のうち6失点はシュートミスからだ。どこまで改善した試合を展開できるか。

【1P】

石川のセンター攻撃を防いだ埼玉がカウンター攻撃でシュート。しかし石川GK①三谷のセーブから、石川が2－1速攻で先制点をマーク。埼玉もすぐさま⑩池田が退水攻撃を決めて同点に。埼玉は退水を誘発し、攻勢に出るがシュートを防がれて、石川が逆襲。石川のシュートこぼれ球を埼玉が痛恨のペナルティ。それを決めて石川リードを広げる。埼玉もよく泳いで④稲垣が決めて2点目。しかし、埼玉の攻撃ミスをつき、4－3速攻で4点目を石川があげて、第1ピリオド終了(埼玉2－4石川)。戦前の予想通り、埼玉側のシュートを石川が防ぎ、そこからの攻撃で石川が点を積み上げる展開となった。

【2P】

双方、攻撃時のミス、シュートブロックなどで一進一退が続いたが、埼玉のパスミス突いて、石川⑦前田が右サイドからドライブSHを決めて3点差を広げた。石川の攻撃ミス突いて埼玉が数的有利の展開となるが、ここでもシュートを石川GK①三谷が防ぎ、逆にカウンター攻撃から石川センター④松野が加点。続けて全く同じ展開で石川センター④松野が連続得点で点差を広げた。ようやく埼玉が退水攻撃を⑥吉川が決めて1点を返して前半を折り返した(埼玉3－7石川)。ここまで石川GK①三谷がシュート数17本中9本をブロック(枠内セーブ率75%)。

【3P】

埼玉ボールを石川がダブルサンドで奪ってからカウンター攻撃。そこで退水を誘発して⑥水浦が追加点をあげ、完全に石川ペースとなった。さらにペナルティで差を広げ、埼玉は攻撃の糸口すら見出せない状況となった。埼玉の無理なパスからスチールされ、カウンター攻撃でさらに石川⑤中村が得点。埼玉は何とか④稲垣が決めて1点を返すが、退水攻撃でのシュートも石川GK①三谷にブロックされて、そこからのカウンター攻撃で失点。完全に攻撃の歯車がかみ合わない状態に陥ってしまった。埼玉4－12石川と一気に大差がついて第3ピリオド終了。

【4P】

埼玉は何とか打開しようとボールを奪うものの、インサイドをしっかりと守る石川DFを突破できず、外周シュート。そこから石川が飛び出す展開となり、④松野が独泳で加点。春JO段階では、もう少しパスが回っていたが、攻撃パターンが崩壊してしまった埼玉。選手たちは何をしたらいいのか大きな混乱の中で試合を進めている状態だ。絶好のカウンター攻撃も④稲垣のシュートをここでも石川GK①三谷がブロック。そのまま石川が数的有利となってさらに加点。再開から埼玉③秋田がねじ込んで1点を奪うのが精一杯という展開となった。埼玉は石川のシュートミスから速攻を繰り出すが、右サイドでボールをつなぐ本来の動きができず、結果的に石川に戻られてしまって石川の逆襲で失点。最後に埼玉⑤菊池が1点を返し、最終的に埼玉6－17石川と大差がつき、石川の3位、埼玉の4位が決まった。